

日本フリーマーケット協会案内

<http://www.freemarket-go.com>

06-6578-3333 (平日10:30~13:00, 14:00~17:00)

since 1979

日本フリーマーケット協会について

協会概要

■名 称 日本フリーマーケット協会 (JAPAN FREEMARKET ASSOCIATION)
■所 在 地 大阪府大阪市西区南堀江1-8-18 株式会社 フリーマーケット社 内
■電 話 06-6578-3333 (平日10:30~13:00, 14:00~17:00)
■U R L <http://www.freemarket-go.com/>
■創 立 昭和54年(1979年)
■代 表 者 浅野 秀弥
■登録会員数 24,000名(法人等、団体を含む)
■登録商標等
FREE MARKET(商標登録済み)
FLEA MARKET(商標登録済み)
フリーマーケット(商標登録済み)
■業 務 代 行
日本フリーマーケット協会の業務を、株式会社フリーマーケット社に委託
■活 動 内 容
フリーマーケット、及びイベントの企画・運営、情報誌発行

沿革

1979年
日本フリーマーケット協会発足
10月
大阪西成区フロンティアランドにて日本初のフリーマーケット開催
1980年
11月 大阪球場でフリーマーケットを開催 約5万人を集める
1981年
4月 株式会社フリーマーケット社 設立
1985年
8月 アメリカ村WEEKEND MARKET定期開催
1986年
11月 南港Theフリーマーケット定期開催始まる
1997年
7月 1st大阪ドームフリーマーケット開催
2000年&2001年
2月 第1回&第2回平成楽市開催 企画・制作・運営プロデュース
2010年
4月 東日本大震災復興チャリティー第一回ほたるまちフリーマーケット開催

開催実績



Funky Market
主催:FM802
動員:35,000人



ほとるまちフリーマーケット
主催:ほとるまち
動員:10,000人



草津追分チャリティーフリーマーケット
主催:ワイドツインパーク追分
動員:5,000人



マンモスフリーマーケット
主催:テレビ愛知
動員:55,000人/2日



フリーマーケット in 大阪ドーム
動員:20,000人



南港theフリーマーケット
動員:2,000人

フリーマーケットとは

いわゆる「フリーマーケット」のルーツは、元来フランス各地で行われていた「蚤の市(Flea Market)」です。

「ものは、使える限り大切に」という、省資源・省エネルギーの思想と、環境保全まで含めた考え方で、不用品や再生が可能なものを公園や広場に持ち寄って売買・交換し再利用を図る市民レベルの知恵として各地に広がりました。

またアメリカでは1973年10月の第四次中東戦争に端を発する「オイルショック」がもたらした世界的な景気停滞により、お金さえ出せば欲しいものが手に入るという生活様式に多大な影響をうけ、資源やエネルギーに限界・不安を抱くようになりました。

この「オイルショック」によって、経済不況の中で生活していこうとする人々の知恵で、以前から各地で行われていた「ガレージセール(Garage Sale)」や「スワップミート(Swap Meet)」といったものが見直され、新しい市民流通形式として活発となり、個人宅のガレージから集会場、集会場から公園へと規模を拡大していきました。

そしてその集大成として出来上がったものが「フリーマーケット(Flea Market)」、
「オープンエアーマーケット(Open Air Market)」と呼ばれる規模の大きなもので、アメリカでは特に天候に恵まれた西海岸を中心として全土に広がりました。
いまや「フリーマーケット(Flea Market)」は、アメリカ・ヨーロッパ共々、市民のライフスタイルとして定着し、また観光名所として多くの方々が訪れています。



日本で「フリーマーケット」が知られるようになったのは、1975年から76年にかけて展開された「アメリカ建国200年祭」キャンペーンの中で、新しい風俗として雑誌等に紹介されたのが初めてです。

そして日本で初めて新しいスタイルとして登場したのは、1979年10月に大阪市西成区津守のフロンティアランドにて「日本フリーマーケット協会」が開催した『第一回フリーマーケット(Free Market)』でした。

その後、日本フリーマーケット協会の活動と共に、大阪を中心に各地へ拡がり、新しい流通システムとして展開、ライフスタイルとしての定着、イベントとして認識されています。

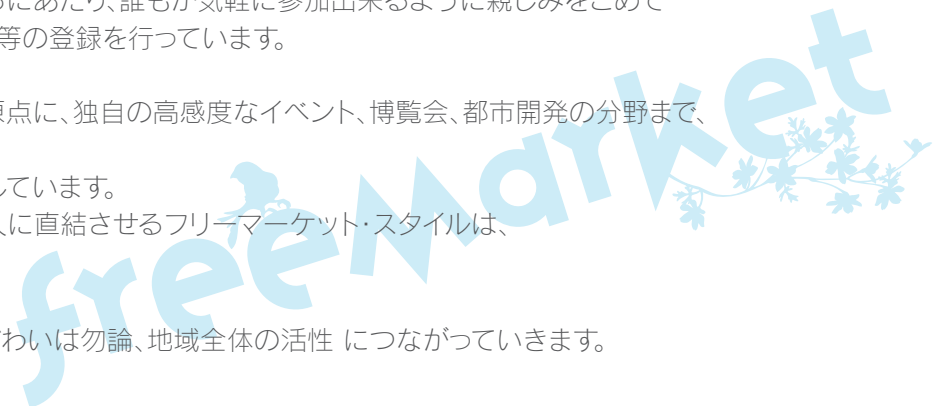
また、日本フリーマーケット協会では、本来「蚤の市」と訳される「Flea Market」を日本で開催するにあたり、誰もが気軽に参加出来るように親しみをこめて『Free Market』とし、独自性・エンターテインメント性を提案していくため、商標登録・サービスマーク等の登録を行っています。

日本フリーマーケット協会及び株式会社フリーマーケット社は、1日だけのにぎわいの街づくりを原点に、独自の高感度なイベント、博覧会、都市開発の分野まで、幅広く活動しています。

フリーマーケットで得たノウハウ“どうすれば人が集まるか”を核としてあらゆる企画を立案、実行しています。

売りたい人と買いたい人を自由にダイレクトに結び付けたように、楽しみたい人を楽しませたい人に直結させるフリーマーケット・スタイルは、理屈や理論をこえた実現力で、数々の実績を生み出しています。

人が集まり、場がにぎわう。その中から、新しい流行や発見、出逢いが生まれ、イベントとしてのにぎわいは勿論、地域全体の活性につながっていきます。



フリーマーケットのポイント

● 地域の活性化

フリーマーケットによって、多くの人と人との交流を生み出し活気と会話あるにぎわいの場を作り、街を活性化します。

● 環境の為の活動

Reduce(ゴミ削減)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)といった3Rをフリーマーケットというイベントを通じて、展開しています。

● イメージアップ

フリーマーケット以外にも、手作り市などのクリエイターの作品発表の場やチャリティーイベントなど、様々なコンセプトのイベントを開催する事により、街や施設のイメージアップをお手伝いさせて頂いております。



フリーマーケットの効果

- 老若男女(新規顧客・スリープ層)へのアプローチ
- 施設に初めて来る方の増加、認知度アップ。
- 来店しなければ分からない魅力を伝える事ができる。
- 既存顧客を含めた店舗のファン化への貢献
- 地域のお祭りのように回を重ねるごとに地域に根付いていきます。
- 店舗での地域コミュニケーションの場の創出
- 老若男女を問わず幅広い層に好印象のイベント開催によるイメージアップ
- 環境貢献やチャリティーのイベント開催による、店舗・会社に与えるイメージUP効果
- 周辺地域への波及効果(飲食店、有料駐車場等の収益増)などの地域活性化
- 募金活動及び寄付による地域、社会貢献
- 積極的な社会貢献、環境貢献ができ遊技施設から地域のランドマークへ
- 今までの広告ではできなかった地域とのリアルコミュニケーションが可能。
- 地域住民を巻き込み地域全体の盛り上げ
- 現状イベントと競合するものでなく現状のイベント効果をさらに効果的に
- イメージ向上においては人財採用などの二次的効果への期待

フリーマーケット開催の種類

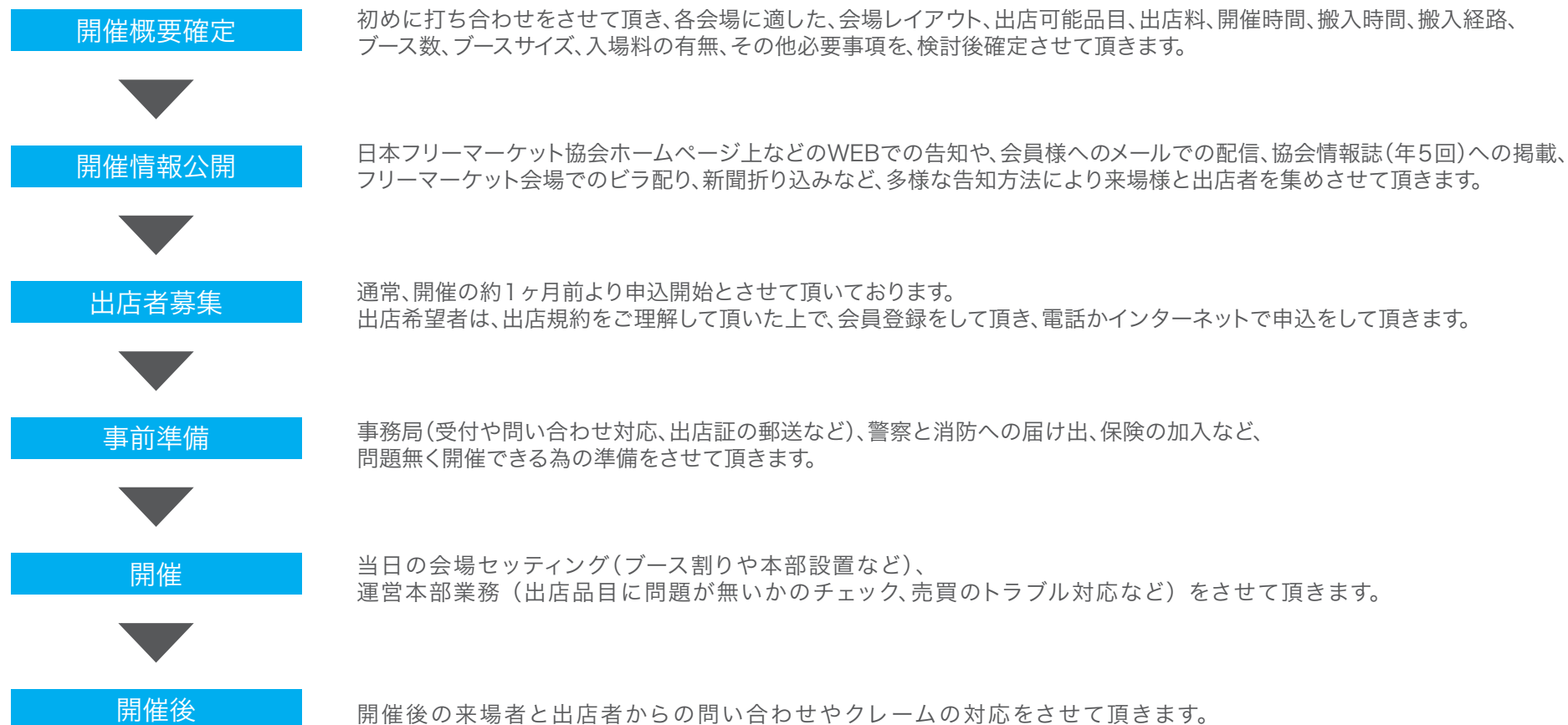
レギュラー開催

毎月開催のフリーマーケット。(年末年始や真夏はお休み)
毎月開催なので、地域や施設のイメージアップや活性化が期待できます。

スポット開催

一回限りや年1~2回のみ開催のフリーマーケット。
他イベント内でのフリーマーケットや、
遊技施設のオープニングに合わせた開催で、
集客増加と共に、施設認知度アップがみこめます。

フリーマーケット開催の流れ



所有地の有効活用をお考えの方、主催イベントにもっと賑わいをお考えの方、お気軽にご連絡下さい。
※開催を検討されている場所・図面・施設の利用条件・実施予定日・ご予算などお聞かせください。

日本フリーマーケット協会
電話番号:06-6578-3333 (平日10:30~13:00 / 14:00~17:00)
又は
E-mail:japanfreemarket@gmail.com
までご連絡ください。

